

平成21年度事業報告書

1. 事業の状況

平成21年度は以下の通り業務を行いました。

(1)事業の概要

I 普及啓発活動

① 「OSSJ」の情報蓄積と普及活動に関して

・オープンソースカンファレンス2009 Tokyo/Fallに後援

10月30日(金)～31日(土)に日本工学院専門学校蒲田キャンパス 12号館で開催されたオープンソースカンファレンスに後援した。内容はオープンソースに関する最新情報の提供、展示はオープンソースコミュニティ、企業・団体による展示、セミナーはオープンソースの最新情報を提供するカンファレンス。

② SOHOディレクトリの研究およびSOHO認証およびSOHOスキル定義とスキルアップのあり方についての研究に関して

・NPO法人 日本ITイノベーション協会との協業により検討を行いましたが、双方の意見の相違が生じ見送り。

③ IPネットワーク時代におけるビジネスモデルの研究に関して

・IPAが関係する全国約50の研修所（新事業支援機関）及び株式会社ネットマンが運営するユーザーズを利用した地域研修「外学」などを活用したライブ研修の研究を行った。継続して検討を行う。

④ 地域再生におけるSOHOのあり方についての情報収集に関して

・各都道府県、市町村、商工会議所、商工会等との連携を図り、SOHOに関する全国の情報を互いに把握できるようにする為の「全国SOHO支援自治体ネットワーク」の検討を行い、発足準備を進めた。

⑤ SOHOの日およびSOHO WEEKSの開催に関して

・3月1日にちよだプラットフォームスクエアにおいて「ICTを利用したSOHO参加型の新たなICT教育プラットフォームと教育コンテンツの創造について」と題してSOHOの日(SOHO WEEKS)記念シンポジウムを開催しました。参加者は約45名、当協会の齋藤理事長よりの挨拶に始まり、小長谷常務よりクリエイティブ・クラス革命とSOHOのスキルアップ戦略」と題した基調講演を行いました。その後「ICT人材育成のためのネットインフラ、テキスト整備、研修方法」をテーマに当協会の齋藤理事長をモデレータとして、パネラーにIT人材育成事業者協議会(ITTVC)の加藤正彦会長、NPO法人オープンソースソフトウェア協会(OSSAJ)理事、当協会評議員の小碓暉雄氏、株式会社C60(シーロクマル)の代表取締役谷藤賢一氏、株式

会社 APRI-Japan の代表取締役植田裕司氏、株式会社ネットマンの代表取締役永谷研一氏を迎え活発なディスカッションを実施した。

(2)活動内容

年月日	業務・事務の内容	備考
平成 21 年 10 月 30 日 平成 21 年 10 月 31 日	<p>オープンソースカンファレンス 2009 Tokyo/Fall</p> <p>内容:オープンソースに関する最新情報の提供</p> <p>展示:オープンソースコミュニティ、企業・団体による展示</p> <p>セミナー:オープンソースの最新情報を提供</p>	
平成 22 年 3 月 1 日	<p>『SOHO DAY』</p> <p>「ICT を利用した SOHO 参加型の新たな ICT 教育プラットフォームと教育コンテンツの創造について」</p> <p>基調講演:大阪市立大学大学院教授、財団法人日本ソーホー協会常務理事 小長谷一之氏</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>「ICT 人材育成のためのネットインフラ、テキスト整備、研修方法」</p> <p>モデレーター 齋藤信男/財団法人日本ソーホー協会理事長</p> <p>パネラー 加藤正彦/IT 人材育成事業者協議会 (ITTVG) 会長 小碓暉雄/NPO 法人オープンソースソフトウェア協会 (OSSAJ) 理事、財団法人日本ソーホー協会評議員 谷藤賢一/株式会社 C60(シーロクマル)代表取締役 植田裕司/株式会社 APRI-Japan 代表取締役 永谷研一/株式会社ネットマン代表取締役</p>	

2、処務の概要

役員に関する事項

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
理事長(非常勤)	齋藤信男	平成 21 年 10 月 14 日	駒澤大学 教授 グローバル・メディア・スタディーズ学部 学部長
理事(非常勤)	増山弘之	同	株式会社光通信 理事
理事(非常勤)	曾根弘一	同	株式会社 E ストアー 取締役
理事(非常勤)	一色正男	同	慶応義塾大学 大学院 特別研究教授
理事(非常勤)	小林正忠	同	楽天株式会社 取締役 常務執行役員
理事(非常勤)	和田圭	同	楽天株式会社 常務執行役員
監事(非常勤)	辰喜一宏	平成 19 年 7 月 1 日	よつば総合会計事務所

(2)職員に関する事項

職名	氏名	職務内容	就任年月日	勤務	月手当	備考
事務局長	鳥海豊彦	財団事務全般	平成 21 年 10 月 14 日	常勤	有	

(3)役員会に関する事項

(平成 22 年 3 月 31 日)

ア 理事会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
平成 21 年 6 月 21 日	出席 13 名	(決議事項)	会議の結果
(第 38 回)		1) 決算報告 平成 21 年度理事体制の件	平成 20 年度決算報告の件 増山理事より決算報告が行われ、平成 20 年度経常増減額は、プラス 44,597 円(黒字)であった旨の説明があった。 監事の辰喜氏は欠席のため、事前監査(平成 21 年 6 月 21 日)の上、平成 20 年度の決算内容に問題ないことが認められた。 (提議された背景) 平成 21 年 3 月 25 日(水)の理事会にて既に承認されている新任理事(畦田堅持氏・岩田真理子氏・平城寿氏・和田直樹氏)の就任に関し、水野専務理事・宮田理事・今駒理事から重任になるとの異議申し立てがあり、同時に事務局業務を委託する NPO 法人日本 IT イノベーション協会が自らが主催するイベントに当協会の後援名義を理事長の承諾なしに使用したことに対し、事務局として不適当との異議申し立てを行ったことで、同 3 名の理事と新任理事及び事務局である NPO 法人日本 IT イノベーション協会間で平成 21 年 5 月 29 日(金)にちよだプラットフォームスクエア R004 にて会合が開かれた。結果として協議は決裂し、本日の理事会にて協議を行い、平成 21 年度の理事体制及び事務局体制を決議することとなった。 (議事) 齊藤理事長より以下の案が提示された。 今回の問題に関係する理事全員が一時的に辞任し、その上でこの 2~3 ヶ月の

			<p>間議論を行い、今後の理事体制を決定する。尚、辞任届に関しては、斉藤理事長の一時預かりとし、最終決定時に受理または不受理扱いを決定する。</p> <p>また事務局はNPO 法人日本ITイノベーション協会への事務局委託を白紙とする。</p> <p>上記、議案に関する協議を進める中、斉藤理事長からの提言により、出席の全理事が今後当協会の運営に対する考え方を発表した。その際に水野専務理事からあらためて新任理時の重任問題及び今駒理事からは、後援名義問題の主張がなされた。</p> <p>また事務局のNPO 法人日本ITイノベーション協会(吉田事務局長)からは、直ちに事務局の移転先の決定要請があった。</p>
平成 21 年 9 月 18 日	出席 9 名	(決議事項)	会議の結果
(第 39 回)		理事の辞任と新任理事の選出報告	<p>辰喜監事は、理事全員が平成 21 年 9 月 18 日付で辞任し、第 25 回評議員会において下記 7 名の新任理事候補者の理事就任が承認されたと報告した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 齋藤 信男氏(さいとう のぶお) 駒沢大学教授グローバル・メディア・スタディーズ 学部学部長 2. 小長谷 一之(こながや かずゆき) 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授 3. 曾根 弘一(そね ひろかず) 株式会社Eストアー 取締役 4. 増山 弘之(ますやま ひろゆき) 株式会社光通信 理事 5. 一色 正男(いっしき まさお) 慶応義塾大学 大学院 特別研究教授

		<p>事務局交代及び事務所移転及び事務局長の任免</p>	<p>承認、未承認の賛否があり、出席者全員が承認した。</p> <p>理事会承認</p> <p>1. 第3章役員(種類及び定数)第16条のこの法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1)理事10名以上15名以内という定数を「理事5名以上15名以内」に変更する。</p> <p>議長より、第3章役員(種類及び定数)第16条の寄付行為変更に関する承認、未承認の賛否があり、出席者全員が承認した。</p> <p>理事会承認</p> <p>議長は、新生財団法人日本ソーホー協会として、今後は新事務局の下で事務局体制を再構築し、業務の見直しをはかるために平成21年9月24日(木)に事務局の交代と事務所移転を行いたいと述べた。</p> <p>議長(理事長)は、株式会社コラボレート研究所の代表取締役鳥海豊彦氏を次期財団法人日本ソーホー協会事務局長として任免した。議長より事務局交代及び事務所移転に関する承認、未承認の賛否があり、出席者全員が承認した。</p> <p>理事会承認</p> <p>新事務局 : 事務局長 鳥海 豊彦氏(株式会社コラボレート研究所代表取締役)</p> <p>事務局長代理 青木 博氏 事務局員他数名(事務局長一任)</p> <p>移転先新住所 : 東京都中央区日本橋人形町1丁目8番4号 東商共同ビル 7階</p>
--	--	------------------------------	--

	<p>その他</p> <p>1. 事業計画の確認</p> <p>2. 今後の活動に関して</p> <p>3. SOHOの日及びSOHO WEEKに関して</p> <p>4. 緊急人材育成・就職支援基金に関して</p>	<p>議長より、今年度の事業計画における事業計画の背景についての説明があった。</p> <p>増山理事より、新任理事に事業計画の協会事業運営の課題と解決方法について報告と説明がなされた。</p> <p>増山理事は、財団法人日本ソーホー協会の活動の趣旨を説明し、今後ワーキンググループ方式を作り活動を広く推進していくために、ワーキンググループへの協力ならびに支援を新任の理事に要請した。</p> <p>議長は、SOHOの日及びSOHO WEEKについてこれまでの活動を報告した。今年度の準備は遅れているが、新任理事が就任したことでもあるので新生財団法人日本ソーホー協会として実施したいと述べた。</p> <p>増山理事より、実施について時間があまりないので既に決まっているイベントに協賛する方式はどうかと提案があった。</p> <p>小長谷専務理事より、時間もないので今年度は1回の開催としたほうが良いと提案があった。</p> <p>小林理事より、楽天主として何が出来るか考えたいと発言があった。</p> <p>議長より、SOHOの日に関しては、もう少し整理して計画を早急に立てたらどうかという提案について全員が承認した。</p> <p>理事会承認</p> <p>事務局長に任免された鳥海豊彦氏は、緊急人材育成・就職支援基金に関して説明と報告があった。財団法人日本ソーホー協会としてSOHOの人達に役立</p>
--	--	--

			つよくな、或いは SOHO をやることによって救われるようなことを今後考えていきたいと述べた。
平成 22 年 3 月 30 日	出席 7 名	(決議事項)	会議の結果
(第 40 回)		平成 22 年度の事業計画	<p>鳥海事務局長は、平成 22 年度の事業計画案の背景、協会事業運営の課題と解決方針を説明した。特に昨今 SOHO の環境も変化しており、来年度は協会事業運営に教育も取り組むことを考えていると述べた。</p> <p>今年度に取り組むテーマは以下の通りである。</p> <p>(1)全国の自治体ネットワーク作り (2)SOHO の事業拡大を目的としたワークショップ研修の開催 (3)SOHO の Web 技術・デザインの向上を図った研修と認定の検討 (4)SOHO を目指す人への SOHO 研修の実施 (5)SOHO の日および SOHO WEEKS の開催 (6)SOHO の質的向上に向けた有益な事業に対する助成活動 (7)地域活性化における SOHO のあり方についての情報収集</p> <p>平成 22 年度の方針に基づく具体的な事業内容は以下の通りである。</p> <p>(1) 普及啓発活動</p> <p>① SOHO の事業拡大を目的としたワークショップ研修の開催 ② SOHO の Web 技術・デザインの向上を図った研修と認定の検討 ③ SOHO を目指す人への SOHO 研修の実施 ④ SOHO の日及び SOHO WEEKS の開</p>

		<p>催</p> <p>⑤ SOHO の質的向上に向けた有益な事業に対する助成活動</p> <p>(2) 情報収集・提供</p> <p>① 全国自治体ネットワーク作り</p> <p>② 地域活性化におけるSOHOのあり方についての情報収集</p> <p>鳥海事務局長は、引き続き事業執行体制を確立し、より機動的な事業推進ができるようにしたいと理事に協力を求めた。また来年度の取り組むテーマの担当理事については、今後打ち合わせることで出席者全員が同意した。</p> <p>議長より平成22年度の事業計画に関する承認、未承認の賛否があり、出席者全員が承認した。</p> <p>理事会承認</p>
--	--	---

イ 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
平成 21 年 9 月 18 日	出席 13 名	(決議事項)	
(第 25 回)		<p>理事の辞任と新任理事の選出</p> <p>辰喜監事は、今回の件で責任をとって理事全員が辞任するとの報告をした。</p> <p>議長より、理事全員の辞任に関する承認、未承認の賛否があり、平成 21 年 9 月 18 日付で理事全員が辞任することを出席者全員が承認した。</p> <p>辰喜監事より、新生財団法人日本ソーホー協会の運営体制を早急に確立すべく下記7名の新任理事候補者の理事就任について承認要請があった。</p> <p>また、新任理事候補者7名は理事就任を承諾しており、緊急を要するので就任日を平成 21 年 9 月 18 日としたいと述べた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 齋藤 信男氏(さいとう のぶお) 駒沢大学教授グローバル・メディア・スタディーズ 学部学部長 2. 小長谷 一之(こながや かずゆき) 大阪市立大学大学院創造都市研究科 教授 3. 曾根 弘一(そね ひろかず) 株式会社Eストアー 取締役 4. 増山 弘之(ますやま ひろゆき) 株式会社光通信 理事 5. 一色 正夫(いっしき まさお) 慶応義塾大学 大学院 特別研究教授 6. 小林 正忠(こばやし まさただ) 楽天株式会社 取締役 常務執行役員 7. 和田 圭(わだ けい) 楽天株式会社 常務執行役員 <p>議長より、新任理事候補に関する承認、未承認の賛否があり、出席者全員が承認した。</p>	承認。
平成 22 年 3 月 30 日	出席 13 名	(決議事項)	会議の結果

	<p>の説明があった。</p> <p>増山理事より、新任理事に事業計画の協会事業運営の課題と解決方法について報告と説明がなされた。</p> <p>2. 今後の活動に関して</p> <p>増山理事は、財団法人日本ソーホー協会の活動の趣旨を説明し、今後ワーキンググループ方式を作り活動を広く推進していくために、ワーキンググループへの協力ならびに支援を新任の理事に要請した。</p> <p>3. SOHOの日及び SOHO WEEK に関して</p> <p>議長は、SOHO の日及び SOHO WEEK についてこれまでの活動を報告した。今年度の準備は遅れているが、新任理事が就任したことでもあるので新生日本ソーホー協会として実施したいと述べた。</p> <p>増山理事より、実施について時間があまりないので既に決まっているイベントに協賛する方式はどうかと提案があった。</p> <p>小長谷専務理事より、時間もないので今年度は1回の開催としたほうが良いと提案があった。</p> <p>小林理事より、楽天主として何が出来るか考えたいと発言があった。</p> <p>議長より、SOHO の日に関しては、もう少し整理して計画を早急に立てたらどうかという提案について全員が承認した。</p> <p>4. 緊急人材育成・就職支援基金に関して</p> <p>事務局長に任免された鳥海豊彦氏は、緊急人材育成・就職支援基金に関して説明と報告があった。財団法人日本ソーホー協会として SOHO の人達に役立つような、或いは SOHO をやることによって救われるようなことを今後考えていきたいと述べた。</p>	承認。
--	--	-----